

読めばデータ不備 & 再入稿がなくなる!? 入稿データコラム



ギモン3

特色って何?

印刷で再現できる色を「CMYK」と知ったせいでんボン!
しかし、印刷には「特色」という存在があることを偶然知り、
それがどういふものなのか気になって仕方ないでした…。

本コラムの登場人物紹介



良子ちゃん、特色ってどんな色のことなの?

特色を簡単に言うと、CMYKでは再現できない色を再現するために調合された「特別な単色インク」のこと。データ上では「スポットカラー」とも呼ぶわね。



へ〜! CMYKで再現できない色があるんだね!

CMYKのプロセスインキは特性上、色を混ぜるほどに、くすむ(暗くなる)傾向があるのよ。だから、**鮮やかな蛍光色や金・銀などの色は特色として扱われるの**。これは大事なことなんだけど、そうした特色を通常のプロセス(CMYK)カラー印刷と混在させるのはコストがかかりすぎるので、一般的には「特色印刷」と「プロセスカラー印刷」は分けて考えた方がいいわね。



《プロセスインキ》

通常のプロセスカラー印刷(4色カラー印刷)に使われるC(シアン)、M(マゼンタ)、Y(イエロー)、K(ブラック)の4つの標準インキのこと。この4つのインキのかけ合わせでカラーを再現します。

《特色インキ》

CMYKでは再現しにくい色を表現するために調合されたインキ。蛍光色、明るいパステルカラー、金、銀などといった種類があります。



特色って、どれぐらい種類があるの?

日本のDICカラーをはじめ、世界のインキメーカーから特色のブランドが出されているのだけど、伝統色なども含めたらその数は**数千種類以上**ね。



ちなみに、宣伝館ではどんな特色でも使えるの?

ケースバイケースよ。基本的には使いたい色を相談してもらえばそれに近い色をご提案するんだけど、コストや納期との兼ね合いもあるので、まずは営業スタッフとどういふ品質の印刷物を作りたいか、相談してもらおうのがベストだと思うわ。

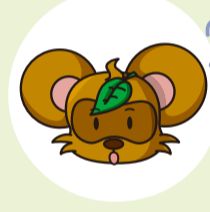


ぜひ、私たち**熱血営業マン**にご相談を!!!



はい! で、特色を使う時の注意って何かあるのかな?

これは通常カラー印刷と特色印刷の両方に言えることなんだけど、入稿する時に**データ上に特色(スポットカラー)で指定した色が残っているのはいけない**。印刷の仕組み上、Illustratorなどのソフトで指定したスポットカラーは、印刷に回せないルールがあるのよ。



スポットカラー? 良子ちゃんが最初にも言ってたけど、何それ?

※Adobe Illustratorでの作業になります。

ボンちゃんは、カラーパレットでこういうのを見たことがないかしら?

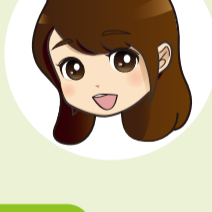
あっ、それは見覚えがあるかもー!

これが**スポットカラー**よ! この色で設定したオブジェクトが印刷データに入っていると、ついてははずの色が白く抜けたり、様々なトラブルの原因になるから要注意なの!



えー! そ、それは困るよ〜!!! どうしたらいいの?!

大丈夫よ、ちゃんと解決方法を説明するから♪



- ①スポットカラーをダブルクリックします。
- ②スウォッチオプションが開きます。
- ③右下の三角の中の黒点が無くなればOKです。

色と名前も変更可能よ。

カータイプ: プロセスカラー
カーモード: CMYK
「グローバル」のチェックは入ったままでOK。

これが解決した状態です♪



一度覚えてしまえば、簡単な作業なんだね〜!



通常のプロセスカラー印刷に特色(スポットカラー)が混在すると印刷の不備の原因になりますので、十分ご注意ください。特色印刷は別メニューになりますので、ご依頼の際に専任担当にご相談ください。

